

# 平成28年度尾鷲市男女共同参画審議会

## 開催結果概要

目的	平成28年度尾鷲市男女共同参画審議会
----	--------------------

日時	平成29年3月2日(火) 15:00~16:00
----	--------------------------

場所	本庁2階 会議室
----	----------

内容
<p>○出席者 委員：重松会長、是井副会長、堀内委員、上村委員、石川委員、梅谷委員、服部委員、内山委員、土肥委員 市：市長公室 大和室長、岩本室長補佐、高濱主事補</p>
<p>1 開会 市長公室大和室長よりあいさつ</p>
<p>2 委嘱状交付及び委員の紹介</p>
<p>3 会長及び副会長の選出について 委員からの互選もあり、重松委員が会長に選出。規定により、副会長には是井委員を会長から指名。</p>
<p>4 会長あいさつ</p>
<p>5 平成28年度尾鷲市男女共同参画推進状況、平成28年度尾鷲市男女共同参画事業報告及び平成29年度尾鷲市男女共同参画事業計画について (事務局) 男女共同参画とはなにかといわれたら、難しい。人権問題の根底にあるものではないか。今、高校生に考える機会を与えている。そういった啓発を進めていくべきではないかと思っている。</p>
<p>(委員) 高校セミナーはかなりいい取り組みだと思う。</p>
<p>(事務局) この取り組みは、2年生の「尾鷲高校まちいく」につながるようにしている。うちとしては、現在1組だけのこの取り組みを全クラスで出来るようにならないか、と考えている。</p>
<p>(委員) はじめ、この審議会に出始めたころからするとだいぶ進歩した。私たちの世代では、そこまで男女差別、特に男性優位だということを知る機会がなかった。こういう取り組みが高校生あたりから広がると面白いように思える。</p>
<p>(委員) 取り組みを見た事があるが、おもしろい意見は多かった。今1組だけだが、全クラスでやってもらえ</p>

ればいいと思う。

(委員)

高校セミナーをカリキュラムに入れるかどうかに関しては校長の判断であると思う。

(事務局)

出来る限り話を進めていきたいと考えている。

(委員)

中学生に例えば、両親はどうかというアンケート等を取るのも面白いのではないか。

(委員)

高齢の方へのアプローチはしているのか。若い人は、むしろ先入観がなく多様性がある。色んな世代への取り組みが必要であるように思う。

(委員)

窓口を置いているということだが、電話など相談はあるか。

(事務局)

現状ございません。

(委員)

尾鷲市公務員の管理状況は、どうか。伸びているのか。

(事務局)

去年から減っている。数字的には、ほとんど病院から出ており、一般行政職はいない。

(委員)

今後伸びる可能性はあるか。

(事務局)

現状女性の係長もおり、可能性はある。ただ、管理職の人数の関係もあり、思う様にはいかないのが現状である。

(委員)

出産等影響はあるとは思うが、安心して役職に就けるような環境作りを考える必要がある。

(委員)

保育園はほぼ女性が管理職である。職場によって環境はあるとは思うが、やらざるを得なくなればやると思う。

(委員)

ノー残業デーはあるか。

(事務局)

水曜日に実施している。残業の場合は、総務課に報告が必要である。ただ、部署によっては、委員会等がある場合もある。

(委員)

早く帰りにくい風潮はないか。

(事務局)

そういう風潮はない。

(委員)

カウンセリングでフェイスシートを書く際に、「男・女」の欄がある。人によっては、それが苦痛という人もいる。「その他・無回答」の欄を設けるのも一つの手だと思う。

(委員)

保護者欄もそうだ。ほとんど父親の名前を書く。無意識のうちに男女間の意識の違いが残っている。

(委員)

男性だけではなく、女性にも差別意識が残っている。

(委員)

「男・女」欄がないと最近は名前だけではわからない子が多い。ケースによる。

(委員)

広報おわせへの掲載について、小さな事業所や会社等へ浸透するよう、工夫をしていただきたい。

(事務局)

他市町の事例等を参考にしつつ、工夫して掲載していきたい。

(委員)

今後の日程はどうか。

(事務局)

定例的なものはない。

(事務局)

今後は、男女セミナーの前に会長へ相談させていただく。また、委員の皆さまには、何か大きな問題・課題が出てきたら、召集させていただく。

(委員)

今年度と内容が変わらないなら、そのまま進めていただきたい。

## 6 その他

## 7 閉 会

以上